

一〇二二年六月四日

緑陰のベンチに独り瞑想す  
車前草の轍のあとに起ち直る  
大淀を撫でゆく茅花流しかな  
江戸と伊勢陣を分かちぬ菖蒲園  
わかば  
よう子  
はく子  
たか子

万緑に七堂伽藍鐘響く  
葉桜となりし長堤人まばら  
ホームランボールを探す苜蓿  
温顔の石仏ならぶ青葉影  
迎へ梅雨土の匂へる田舎路  
宏虎  
わかば  
ぽんこ  
なつき  
愛正  
茶柱の新茶に和む老夫婦  
合歛の花長きまつ毛にさも似たり  
かかし  
こすもす